

## 5.15 沖縄平和行進に参加して

大正埠頭分会 高田剛士

5月11日(木)から15日(月)までの4泊5日で沖縄平和行進に初参加しました。5月に入って間もないのに、すごい日差しが強く暑かったです。初日の日には全港湾顔合わせがあり、同じ世代の人が多かった事もあり、すぐに仲良くなれました。2日目は19.2キロの初行進に参加し、レンジャーをさせていただきました。この日に印象に残ったのは地上戦が激しかった土地を歩いたことです。ここで戦争があり、多くの人が亡くなった場所と思えないほど整備されていました。沖縄県民でしかわからない戦争の恐怖を実感し、もう二度と戦争は起こさせたくないそんな気持ちでいっぱいでした。二度と戦争をしないために、全国の人が団結し、1日でも早く戦争の恐怖がなくなるように声をあげ、米軍基地を撤退させなければなりません。3日目は朝から雨が激しく、途中で中止になりましたが、雨にも負けない力強いシュプレヒコールが街に響き渡りました。4日目は「復帰45年5.15平和とくらしを守る県民大会」が瀬高海岸で開かれました。今年は「基地のない沖縄を」というハチマキを巻き、そして国内外から2200人が集まり、中には、韓国の人や、中国の人、驚いた事にアメリカの人達も米軍や自衛隊基地の拡大、強化に反対し、日米地位協定の抜本的改正を求める大会宣言を採択し、ガンバロー三唱で平和への強い意志を示していました。しかし、その願いとは裏腹に目の前には、新基地建設のためのフロートや、大型作業船が浮かぶ厳戒の海が広がっていました。5日目は大阪支部の取り組みで抗議船に乗り、海上行動、大浦湾視察、ゲート前視察に行ってきました。この5日間で一番衝撃的な1日で、ゲート前に到着した時に、炎天下の中、座り込みしていた年配の方々が機動隊員に両手両足を4人に持ち上げられていて、痛そうにしていたのが一番衝撃的でした。そして、トラック運転手、機動隊もみんな沖縄出身の人です。トラックの運転手の方が悲しそうな顔をしていたのが印象的です。機動隊の人はこんな事をするために機動隊になったわけではないのに強制でやらされているそうです。この光景を知っている人は日本に何人いるのでしょうか。知っている人は少ないと思います。年配の方々が必死で戦っているのに私は呆然としてしまいなにもできませんでした。ですが、この光景を1人でも多くの人々に伝えていく事が私の強い思いです。この沖縄平和行進に参加できた事で、たくさんの頼もしい仲間と出会い、沖縄に美しい海と、平和で静かな街が来る日まで私たちは闘い続けます。